

# 伊丹福音ルーテル教会 待降節第一主日礼拝のしおり

## 2021年11月28日

### 主を待ち望むアドベント(点火)

主を待ちのぞむ アドベント、最初のろうそくをともしよう  
主が道をそなえられた、このときを守ろう  
主の民よ、喜び、主は近い

### 招きのことば：詩編 25 編 4-11 節

主よ、あなたの道をわたしに示し あなたに従う道を教えてください  
あなたのまことにわたしを導いてください。教えてください  
あなたはわたしを救ってくださる神 絶えることなくあなたに望みをかけています  
主よ思い起こしてください あなたのとしへの憐れみと慈しみを  
わたしの若いときの罪と背きは思い起こさず慈しみ深く、  
御恵みのために主よ、わたしを御心に留めてください  
主は恵み深く正しくいまし 罪人に道を示してくださいませ  
裁きをして貧しい人を導き 主の道を貧しい人に教えてくださいませ  
その契約と定めを守る人にとって 主の道はすべて、慈しみとまこと  
主よ、あなたの御名のために 罪深いわたしをお赦してください

### 罪の悔い改めと赦しのことば

**会衆：** 私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。  
私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。（短い黙禱を持ちましょう）

**牧師：** 何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言 します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン。**

### 使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくんだり、三日目によみがえり、天にのぼり、父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。 **アーメン**。

## 祈り

愛とあわれみに満ちておられる 私たちの父なる神様、心から感謝をいたします。今朝も共に礼拝にあずかり、罪の赦しをいただき、新しいいのちをいただいて 一週間を始めます。

待降節、アドベントの季節に入りました。私たちのために人となって救いを完成して下さったイエス様のお誕生をともに待ち望みます。苦しみや思い煩いや不安から、私たちを解放して下さり、むしろ愛と喜びをもって自ら進んで隣人の力になれるように鍛えてください。あなたはいのちをはぐくみ、私たちを神様と人々に喜ばれるものにして下さいます。天地が滅んでも、決して滅びることのないイエス様のみ言葉を聴いて、私たちの一週歩みが始まります。新型コロナ・ウィルスの感染拡大を防ぐために、なお緊張感を保っていかねばなりません。その中でも 御手にゆだね確信をもって、あなたの子どもとして 安心して 生き生きと生きる日々を与えてください。

この祈りを、私たちの救い主であり 主である イエス・キリストのお名前sによってお祈りいたします。 **アーメン**

## 子ども祝福式

### 使徒書朗読：第1テサロニケ3章9-13節

わたしたちは、神の御前で、あなたがたのことで喜びにあふれています。この大きな喜びに対して、どのような感謝を神にささげたらよいでしょうか。顔を合わせて、あなたがたの信仰に必要なものを補いたいと、夜も昼も切に祈っています。どうか、わたしたちの父である神御自身とわたしたちの主イエスとが、わたしたちにそちらへ行く道を開いて下さいますように。どうか、主があなたがたを、お互いの愛とすべての人への愛とで、豊かに満ちあふれさせて下さいますように、わたしたちがあなたがたを愛しているように。そして、わたしたちの主イエスが、御自身に属するすべての聖なる者たちと共に来られるとき、あなたがたの心を強め、わたしたちの父である神の御前で、聖なる、非のうちどころのない者として下さるように、**アーメン**。

### 福音書朗読：ルカによる福音書21章25-36節

「それから、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂うので、諸国の民は、なすすべを知らず、不安に陥る。人々は、この世界に何が起こるのかとおびえ、恐ろしさのあ

まり気を失うだろう。天体が揺り動かされるからである。そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。」それから、イエスはたとえを話された。「いちじくの木や、ほかのすべての木を見なさい。葉が出始めると、それを見て、既に夏の近づいたことがおのずと分かる。それと同じように、あなたがたは、これらのことが起こるのを見たら、神の国が近づいていると悟りなさい。はっきり言うておく。すべてのことが起こるまでは、この時代は決して滅びない。天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」「放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい。さもないと、その日が不意に罨のようにあなたがたを襲うことになる。その日は、地の表のあらゆる所に住む人々すべてに襲いかかるからである。しかし、あなたがたは、起ころうとしているこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈りなさい。」

### 讚美歌 94 番

1. 久しく待ちにし 主よ とく来たりて み民のなわめを 解き放ちたまえ  
※主よ 主よ み民を 救わせたまえや
2. あしたの星なる 主よ とく来たりて お暗きこの世に み光りをたまえ ※
3. ダビデの裔(すえ)なる 主よ とく来たりて 平和の花咲く 国をたてたまえ ※
4. ちからの君なる 主よ とく来たりて 輝くみくらに とわに即(つ)き給え ※ アーメン

### 説教：「わたしの言葉は決して滅びない」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

新年おめでとうございます。本日から教会の暦では新しい年となります。教会は希望です。旧約聖書の時代に人々は救い主を待ち望んでいました。イエス・キリストは救い主としてクリスマスにお生まれくださいました。イエス様は私たちのために十字架で死んでくださり、よみがえって天に帰られ、今も私たちと共にいてくださいます。そして私たちは再びイエス様が来てくださることを待ち望んでいます。イエス様がこの世を終わらせ、新しい世をもたらしてくださいという希望をもっています。

先週はイエス様が、いよいよ最後の一週間をお過ごしになって、ポンテオ・ピラトに苦しみをお受けになったことが話題となりました。今朝はイエス様がエルサレムで、とらえられる少し前にお話をなさった、世の終わりのことがテーマです。

終わりの日に先立って、神殿が崩壊する、イエス様のように自分は救い主であると自称する人が大勢現れる、戦争や暴動がおこる、大きな地震や飢饉、疫病があり、天体にも異変がある、

クリスチャンに対して迫害があるということなど、イエス様は預言されています。また、エルサレムが軍隊に包囲されると終わりが近い、ということもお話になりました。今日の箇所はその続きに当たります。

今日の箇所はふたつのメッセージがあります。ひとつは、イエス様が栄光の姿で来られるときは、解放の時が来た、ということだから、頭をあげましょう、ということ、もうひとつは、すべての人が例外なくその日を迎えることになるので、目を覚まして祈っていきましょう、ということです。

最初のポイントは、イエス様が栄光の姿で来られる、ということですね。イエス様は、天体が揺り動かされ海にも異変があり、世界の民が恐れ不安になるとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲にのって来られるのをすべての人が見るといわれました。人の子、とは旧約聖書ダニエル書の7章13節というところで最後の日に来られて権威をもって世界を統治される方のことです。イエス様はやがてご自分がそのようにして来てくださることをお話になっているのです。私たちはそのことを前もって知らされたのです。そして希望のない人々のようにではなく、頭を上げて待ち望むときなのです。

イエス様は一度目はクリスマスに来てくださいました。そのときは神様としての栄光を隠して、私たちのために苦しみ、罪を担い、人々の罪のせいで十字架につけられてくださいました。それは人々の罪の赦しのためでした。イエス様はお約束の通りよみがえって弟子たちを励まし、天に帰って行かれました。イエス様を信じる者は神様の御前で罪の赦しをいただき、また同時に残る生涯、そして永遠に至る新しいいのちをいただきます。神の子とされた喜びをもって日々の与えらえた歩みを人の役にたって生きていきます。私たちはそのように、イエス様だけに希望を置いて、今週も生き生きと歩みます。

イエス様はいちじくの木やすべての木を見なさい、と言われました。当時の人々は身近にあったいちじくの木から季節の変化を感じていました。つまり、いちじくの木が茂ってくれば夏がもうすぐ来るということを知り、いちじくの実が実って熟してくるとそろそろ秋が近づいたということでした。だから、いろいろなしるしを見ながらイエス様が再び来てくださる日が近いことを自覚しておくようにとイエス様はおっしゃっています。

聖書は世のはじめがあり、おわりがあると語っています。世界の歴史が循環するとか、私たちが死んでも新しい自分になりかわってまた人生をやりなおす、という思想は聖書にはありません。歴史には天地が創造されたというはじめがあり、神様であるイエス・キリストが世にお生まれになったという紀元前と紀元後をわけるクリスマスがあり、そしてイエス様が今度は栄光の内に来てくださる世の終わりがあります。私たちはその前にあるいろいろな兆候を注意してみておきながら、イエス様を待ち望みましょう。

世界に終わりが必ずくるように、私たちの生涯にも、必ず終わりの日が来ます。私たちはその日までどのように生きていくとよいのでしょうか。恐れおののいて、考えないようにして、なるべく遠くにおいやっていることが多いです。今はそこまで考えられない、という感じです。ときどき、死を予感するような出来事に会って、びくっとすることがあり、もうちょっと真剣に考えていかなければいけない、と思いつつ、いつしか忘れていきます。

私たちはイエス様に罪と死と悪魔の力から自由にされました。罪びとの魂は死んだあと神様の前に公平な裁きを受けることを恐れます。しかし、私たちはイエス様が十字架で死んで私の罪の償いを代わりにしてくださいました。父なる神様は洗礼によって、私たちの名前を呼んで、そのイエス様の救いはあなたのもので、と確証を与えてくださいました。死に際しても、イエス様が共にいてくださいます。死の恐怖の奴隷になっていた私たちはイエス様によって解放されました。天地は過ぎ去ります。しかし、イエス様のみ言葉は決して滅びない、と約束されました。今も、今週も、とこしえまでも、イエス様のお約束は滅びません。信頼して、その上に私たちの魂をのせて安心しましょう。

でも、私たちは、自分の死はよいけれど、残されていく人々のことが心配だ、とも思いますね。祈りましょう。貧しいラザロが玄関で暮らしていたお金持ちの人が死んだあと、自分の兄弟や親族にもイエス様の御救いを伝えてほしい、と願ったように、私たちが残していく愛する家族や親族にも、今のうちにイエス様のみ言葉を伝えておきましょう。また、残されている方々はイエス様の御手にお任せして安心しましょう。世は過ぎ去ります。しかし、イエス様の約束のお言葉は滅びない、と言われていきます。なんと安心なことでしょうか。

このように世は過ぎ去っていきますが、かわらないものがあります。それはイエス様のみ言葉です。天地は滅びます。しかし、イエス様の言葉は決して滅びません。心強いことですね。

今朝覚たいもうひとつのことは、すべての人が例外なくその日を迎えることになるので、目を覚まして祈っていきましょう、ということです。

イエス様は放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい、と言われてきました。その日を待つことに慣れてしまい、心が緩んでしまって、待っていることを忘れてしまうことがあるということです。

それは心当たりがありますね。私たちはイエス様によって罪を赦されて、神様の子どもにいただき、新しい命を生かされていますが、よくそのことを忘れていきます。すべての思い煩いから解放されて、イエス様が遣わしてくださる日々の務めに、愛をもって全力で取り組みますが、試練があったら、自分を責め、人を責め、神様を恨みます。悲しいことがあっても、共にいてくださるイエス様のゆえに慰められて、それらを通して信仰を育てていただき、すべてを相い働かせて益としてくださるイエス様に感謝をしますが、そのあとイエス様のことを忘れてしまいます。

放縦や深酒や生活の煩いと書いていますが、その通りですね。生まれながらの私たちの不安定で、神様も自分も隣人も正しく愛することのない、罪深い古い人が残っていて、いつも頭をもたげます。私たちは自分の中に残っているこの古い人これに悩まされます。神様のことを忘れていきます。計算高く、欲どおしくなります。人を傷つけ、傷つきます。いつも不安です。いつも何か不満を持っています。いつも自分がわからなくてもやもやしています。クリスチャンになる前の自分と同じ自分です。そしてイエス様を信じる自分との間に絶え間ない葛藤があります。戦いがあります。

そのとき、イエス様のみ言葉が響きます。目をさまして祈っていなさい。いつも信仰が眠ってしまわないで、目を覚まして祈っていなさい、といわれます。頼りになるのはイエス様のみ言葉と、洗礼や聖餐と言う聖礼典です。イエス様を信じて古い自分は十字架で死んで、今あたらしい命に活かされているということ、私たちは常にみ言葉を聴きながら、そうだったな、と覚えさせていただきます。洗礼や聖餐にあずかってイエス様の救いの確証を常に新たにさせていただきます。肉の思いに自分をまかせないで、御霊によって歩みましょう。完成して下さるイエス様の到来を待ち望みながら、今も目を覚まして、イエス様によって歩いていきましょう。

人の子であるイエス様が再び来てくださると、そのときは仕える姿ではなく、栄光の姿で来られるということです。最後の裁き主として来られます。今はイエス様を信じる人の間でしかイエス様のことを覚えることはないのですが、その日にはすべての人がイエス様にお出会います。

人々は恐れるでしょう。しかし、私たちはそのときに、イエス様によって生まれた神の子としての私と、生まれながらにもっていた神様も人をも愛さない古い自分の葛藤から、イエス様によって解放されるときがきたことを喜ぶのです。「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた」というみ言葉が、私たちにとっては真に成就し実現するときです。

これからイエス様の来臨されたクリスマスを待ち望んでいきます。イエス様がもう一度こられるときを、私たちも目を覚まして、頭をもたげて、待ち望んでまいりましょう。そして、この一週間も、イエス様が遣わして下さるところで、出会う人々の祝福を願い、おひとりひとりの幸せのために全力を尽くしてお仕えてまいりましょう。みんながイエス様を信じて待ち望むことができるように、わかりやすく親しみやすくイエス様のことをお伝えすることも覚えておきましょう。

「天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」ルカ 21:33

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってください。アーメン

### 讚美歌 501 番 献金 献金感謝の祈り

1. 生命のみ言葉 たえにくすし、見えざる御神の むねをしめし、仕えまつる道を教(おし)う。  
※ 生命のみことば たえなるかな、いのちの御言葉 くすしきかな。
2. 主イエスの御言葉 いと慕わし、普く響きて 世のちまたに 悩む子らを 天(あめ)に招く ※
3. うれしき訪れ たえずきこえ、赦しと和らぎ たまう神のの 深き恵み 世に現る。 ※  
アーメン

### 主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たせたまえ。  
みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。  
われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。  
われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

### 頌栄：讚美歌 541 番

父、御子、御霊の おおみ神に ときわに たえせず み栄えあれ、み栄えあれ **アーメン**

### 祝福の言葉

仰ぎこいねがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき  
お交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、  
豊かにありますように。 **アーメン**

### 後奏